

製品名: Cdk8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08573**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK8
別名	CDK8; Cyclin-dependent kinase 8; Cell division protein kinase 8; Mediator complex subunit CDK8; Mediator of RNA polymerase II transcription subunit CDK8; Protein kinase K35
遺伝子 ID	1024.0
SwissProt ID	P49336
免疫原	抗血清はヒト CDK8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

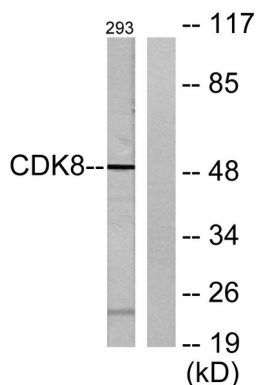
サイクリン依存性キナーゼ 8 (CDK8) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイクリン依存性タンパク質キ

ナーゼ (CDK) ファミリーのメンバーです。CDK ファミリーのメンバーは、*Saccharomyces cerevisiae cdc28* および *Schizosaccharomyces pombe cdc2* の遺伝子産物と非常に類似しており、細胞周期進行の重要な制御因子として知られています。このキナーゼとその制御サブユニットであるサイクリン C は、RNA ポリメラーゼ II ホロ酵素複合体の構成要素であり、RNA ポリメラーゼ II の最大サブユニットのカルボキシ末端ドメイン (CTD) をリン酸化します。このキナーゼは、一般転写開始因子 IIIH (TFIIH) の CDK7/サイクリン H サブユニットを標的として転写を制御することも示されており、そのため、「メディエーター様」タンパク質複合体と基礎転写機構との間のリンクを提供します。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: ATP + [DNA 指向性 RNA ポリメラーゼ] = ADP + [DNA 指向性 RNA ポリメラーゼ] リン酸。、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リンタンパク質。、補因子: マグネシウム。、機能: ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の調節された遺伝子転写に関与するコアクチベーターであるメディエーター複合体の構成要素。メディエーターは、遺伝子特異的調節タンパク質から基本的な RNA ポリメラーゼ II 転写機構に情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般的な転写因子との機能的な開始前複合体の組み立ての足場として機能します。RNA ポリメラーゼ II の大サブユニット (RNAP II) の CTD (C 末端ドメイン) をリン酸化します。これにより、転写開始複合体の形成が阻害される可能性があります。CCNH をリン酸化することで、TFIIH 複合体のダウンレギュレーションと転写抑制を引き起こす。MAML1 との相互作用を介してリクルートされ、NOTCH の細胞内ドメインを過剰リン酸化することで、その分解を引き起こす。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CMGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。CDC2/CDKX サブファミリー。、類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、サブユニット: メディエーター複合体の構成要素であり、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、および CDC2L6/CDK11 から構成される。MED12、MED13、CCNC、および CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成する。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低い。1 つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれている。CCNC/CDK8 によって形成されるサイリン/CDK ペアは、RNA ポリメラーゼ II のラージサブユニットとも会合する。CTNNB1、GLI3、MAML1 と相互作用する。

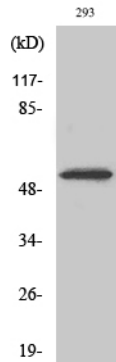
研究分野

-

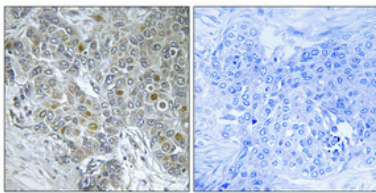
画像データ



CDK8 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した Cdk8 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。